

センター所長からのメッセージ

人類社会と自然環境に貢献する
グローバルリーダーになろう



グローバルエデュケーションセンター所長
田中愛治

グローバルエデュケーションセンター（Global Education Center：略称 GEC）は、「Waseda Vision150」で掲げるとおり、早稲田大学で学ぶ学生が共通に身につけるべき学術的なスキルを提供し、真に国際的な視野から物を見ることができる人材を育成する教育の場として設置されました。

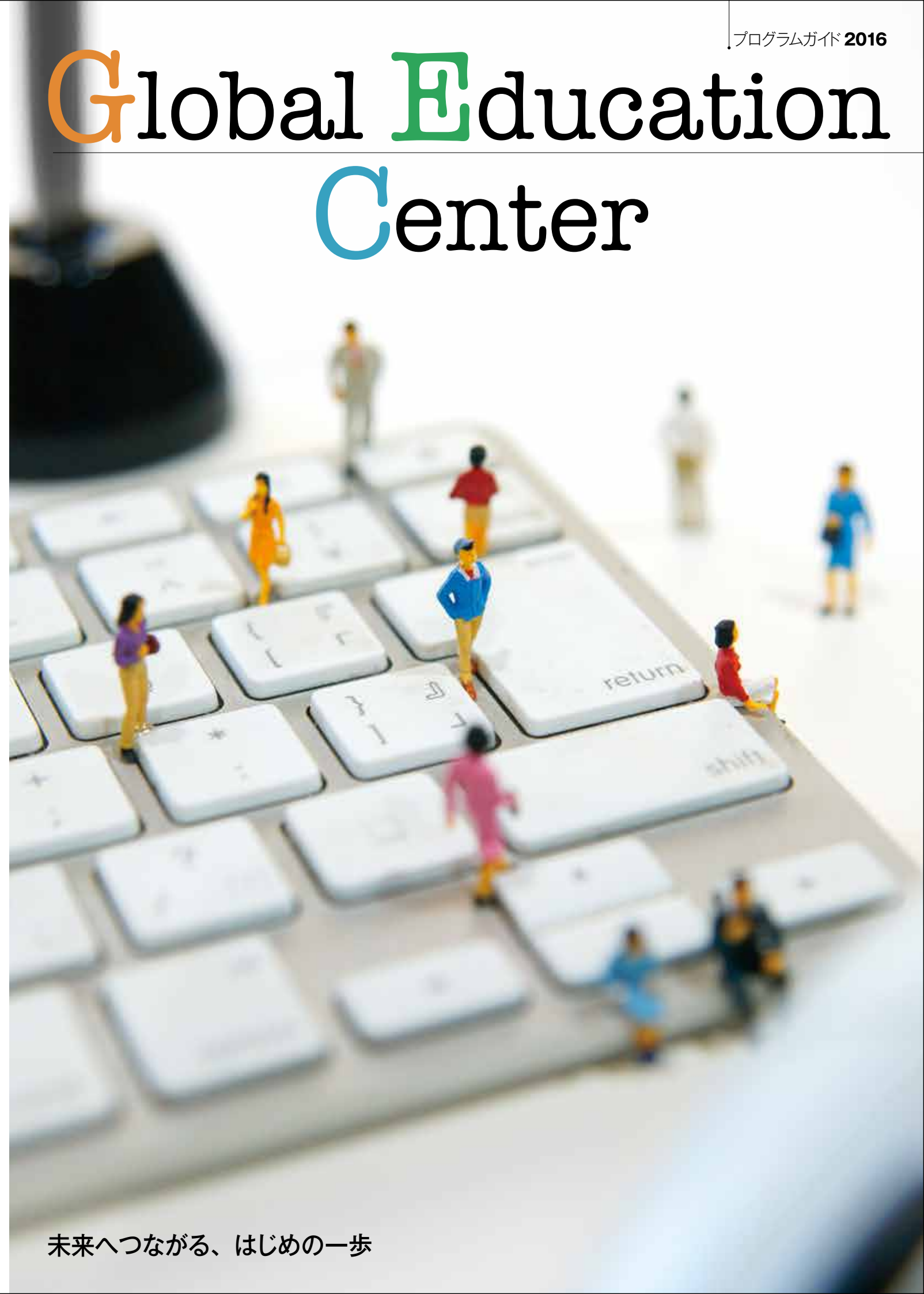
グローバル・エデュケーションという言葉は、みなさんが、早稲田大学を卒業後に暮らすであろう世界中のそれぞれの地域に溶け込んでサバイヴし、地域社会の価値観を学び、結果として故郷の地域社会、行き先の地域社会や国、または自国やその国の民間企業に貢献、ないしは、国際機関・国際企業などを通して地球上の大きな地域や国際社会に貢献するといった、地球上の人類社会と自然環境に

貢献する人材となることへの願いを表しています。

GEC では、学生必須のアカデミック・ツールを学ぶ「アカデミックリテラシー科目」、物事の本質を見極める洞察力を育む「リベラルアーツ教育」、多様な外国語や異文化理解力を鍛える「語学教育」を通じ、世界中のさまざまな価値観を学びうる多種多様な全学オープン科目を提供しています。

学部の主専攻と並行してテーマに沿って体系的に学ぶ「全学共通副専攻」の制度も含め、GEC 設置科目を大いに活用し、学問を学んでください。みなさんには、社会に出てインテレクチュアルな仕事をするうえで必須となる基礎的なアカデミックなツールを身につけ、物事の本質を見極める洞察力を持つ人間として不可欠な教養を育み、充実した学生生活を送っていただきたいと願っています。

Global Education Center



未来へつながる、はじめの一步

 早稲田大学
グローバルエデュケーションセンター
<http://www.waseda.jp/gec/>

【お問い合わせ先】
〒169-8050
東京都新宿区戸塚町 1-104
TEL：03-3204-9196
Email：gec-help@list.waseda.jp

グローバルエデュケーションセンター
プログラムガイド 2016

2016年2月29日 第1版発行

発行 早稲田大学
企画・制作 株式会社 エスクリプト
印刷・製本 株式会社 欧文印刷

無断転載を禁じます。
All rights reserved © WASEDA University 2016

GECが提供する 学びの世界へ

世界のいかなる場所・場面においても
グローバルな視点で課題解決に貢献できる
人間力・洞察力にあふれた真のリーダーを育てたい。
そんな、早稲田大学が掲げるビジョンを遂行するために
グローバルエデュケーションセンター（GEC）は誕生しました。

学部の学びと並行しながら、自分に足りない知識、
社会で役立てたいスキル、興味ある体験などを積み重ね、
なりたい自分へとステップアップを図ることができます。
学ぶフィールドも学び方のスタイルも多種多様。
未来へつながる大きな第一歩を、踏み出してください。

グローバルリーダー育成に向けた 多面的な教育プログラム

GEC では、学びの基本となるアカデミックリテラシー、幅広い教養を学べるリベラルアーツ教育、多彩な言語に挑戦できる語学教育のほか、学部で学ぶ主専攻とは別に第二の強みを持つ全学共通副専攻制度など、多様な学びの機会を提供しています。学びたい意欲に合わせて自由に組み合わせ、自分だけの「知の体系」をつくることのできるのです。GEC が考える「グローバルリーダー」とは、幅広い知識や経験に裏打ちされた自分なりの「知」を築いている人に他なりません。

その選択が、夢をかなえる大きな一歩になる。

アカデミック
リテラシー

社会で
役立つ
スキル

リベラル
アーツ

海外留学

ボランティア

スポーツ

インターン
シップ

全学共通
副専攻

リーダー
シップ

語学

（ここからはじめよう！ 新入生スタートアップ講座）

「新入生スタートアップ講座」は、新入生のみなさんが円滑に学生生活をスタートできるよう「Course N@vi」上で視聴するオンデマンドコンテンツで、以下の2つのプログラムが用意されています。

わせだライフ ABC

大学での学び方、ルールやマナー、緊急時の対応、留学、ボランティア活動など、学生生活を送るうえで欠くことのできない知識や心構えをひも解きます。

新入生コンピュータセキュリティセミナー

情報倫理を理解し、本学が提供する PC・インターネット・メールなどの情報環境を、正しく利用するために必要な知識やノウハウをわかりやすく解説します。

WASEDA 式 アカデミックリテラシー

あらゆる学問の基礎となるアカデミックリテラシー。
そのスキルは、社会人になってからも大いに役立ちます。

すべての学びの土台となる 5つの分野で基礎を固める

早稲田大学では、すべての学問に求められる必須スキルとして、「アカデミックライティング」「数学」「統計」「情報」「英語」を身につけることを推奨しています。文系・理系を問わず、あらゆる学びの礎となり、今後、社会に出てからも必ず役立つ力です。ぜひ早い段階でマスターしておきましょう。



アカデミック ライティング

オンデマンド科目「学術的文章の作成」では、学術的文章の慣習、語句の適切な使い方、わかりやすい構成の方法、引用と出典の明記の仕方など、論文やレポート提出に求められる技能を学びます。文章作成力の向上と同時に思考そのものも鍛えることができます。ライティング・センターでは、対面方式によりレポートや論文作成の助言を行います。

英語

早稲田大学では、応用言語学の理論を取り入れて開発された3段階のプログラムで、使える英語を徹底的に鍛えます。Step 1 の「Tutorial English」ではレベル別の少人数で「話す」「聞く」力を身につけます。Step 2 では英語で思考する力を、Step 3 では英語で他者と協働する力を育むプログラムが用意されています。

学びを深める 5つの アカデミック リテラシー

数学

身近なテーマを通して数学の基礎知識を身につけ、同時に、数学的な論理的思考力を養います。金利などのテーマを、初級レベルからステップアップして学ぶことができます。オンデマンドの授業で不明点があれば、メールやBBSのほか、3号館2階 Math and Stat Center などティーチング・アシスタントによる対面指導を受けることも可能です。

統計

「ビッグデータ」という言葉を耳にしたことはありますか？ 情報化社会ではデータを活用し、意思決定を行う場面が多々あります。学問研究においても、文理を問わずあらゆる学部において統計的なスキルを駆使して解析する手法が存在します。オンデマンド科目「統計リテラシー」シリーズで、さまざまな手法を学んでいきましょう。

情報

電子メールやSNS、インターネットを用いた検索、プレゼンテーション資料の作成など、コンピュータスキルやネットワーク上の情報活用能力が求められる時代です。これらの基礎的なスキルを学ぶ「PC・ネットワークを利用した情報表現」「情報科学の基礎」で、高度情報化社会で役立つ情報リテラシーを身につけましょう。

充実の自習環境

早稲田大学のキャンパスには、目的に合わせて選べる自習スペースがあり、多くの学生が活用しています。

3号館、7号館の学習室「W Space」 起業家創出に向けた「WASEDA 共創館」

早稲田大学には、みなさんの学びを助ける自習スペースが豊富に設けられています。なかでも注目度は、昨年完成したばかりの早稲田キャンパス7号館の「W Space」や、グローバルアントレプレナー育成をコンセプトとした19-2号館「WASEDA 共創館」です。このほかにも学内には、学生が自主的な学びや活動をするための施設があります。それぞれの目的に合わせて、ぜひ積極的に活用しましょう。



ライティング・センター [3号館2階] 論文作成を個別に指導

授業のレポートや論文など学術的な文章の作成を、アカデミックライティングの専門知識を持ったチューターが個別指導します。1回のセッションは45分。英語と日本語、いずれの文章にも対応し、作成途中の論文や、まだ構想の段階でも指導を受けることが可能です。

早稲田キャンパスのほか、西早稲田キャンパス、所沢キャンパス、TWinsにも分室があります。
<http://www.cie-waseda.jp/awp/jp/wc/>



Math and Stat Center [3号館2階] 対面指導で数学・統計を克服

オンデマンド形式の講座「数学基礎プラス」シリーズと「統計リテラシー」の履修者を対象に、各科目の疑問点などがあれば、TA (Teaching Assistant) が個別に対面サポートします。常時 TA が待機し、丁寧にわかりやすく指導してくれます。

「数学基礎プラス」シリーズでは早稲田キャンパスのほか、所沢キャンパスでも対面指導を実施しています。
<http://www.waseda.jp/gec/utility/access/MS/>



コンピュータ自習室／グループ学習室 [22号館地下1階] 24時間利用できる自習室

パソコン145台とプリンタ5台を設置。深夜でも集中して学習に取り組むことができ、試験や課題提出前の追い込み利用する学生もいます。コンピュータ自習室の奥にはグループ学習室（要予約）も併設。グループワークやプレゼンテーションの練習に最適なスペースです。このほかにも、学内には数多くのコンピュータルームや自習室があります。
<http://www.waseda.jp/navi/services/index.html>



W Space [3号館2階] 自在に活用できる自習室

グループ学習室「W Space」は、学生の発案から生まれた新しい学習スペースです。大小のブースが7つ設置され、目的に合わせて最適な環境を選んで使用できます。パソコンやプロジェクター、ホワイトボードなどを常時貸し出ししており、グループワークやプレゼンテーションの練習等が可能です。ぜひ活用してください！
<http://www.waseda.jp/inst/ches/ctlt/learning/wspace/>



W Space [7号館1階] 個人学習ブースも併設

2015年12月にオープンした7号館「W Space」は、グループ学習スペースに加え、個人学習ブースも併設しています。予約が必要なスペースと、自由に利用できるスペースがあります。また、少し寛いだ雰囲気の中でグループワークを行うことができる畳ブースなどもあります。予約が必要なスペースおよび時間帯は、以下のURLを参照し学生証持参のうえ早稲田ポータルオフィスへお越しください。
<http://www.waseda.jp/wpo/facilities/wspace.html>



W Space 「WASEDA 共創館」 [19-2号館] 目指せ グローバルアントレプレナー

2014年度に文部科学省「グローバルアントレプレナー育成促進事業 (EDGE プログラム: Enhancing Development of Global Entrepreneur Program)」の一環として、その活動拠点「WASEDA 共創館」を移設し、本格展開を開始しました。学生スタッフにより運営され、学生の大学への参画の場と学生自身が成長する場としても期待されています。利用の可否は学生証持参のうえ現地にてご確認ください。
<http://waseda-edge.jp/>

1 WASEDA 式
アカデミックリテラシー

2 充実の自習環境

3 ユニバーシティ・スタディー・ズ

4 言語科目

5 スポーツ

6 全学共通科目専攻

7 他大学との連携

8 My Vision Program

1 WASEDA 式
アカデミックリテラシー

2 充実の自習環境

3 ユニバーシティ・スタディー・ズ

4 言語科目

5 スポーツ

6 全学共通科目専攻

7 他大学との連携

8 My Vision Program

ユニバーシティ・スタディーズ

社会を生き抜くために必要な人間の核となる知識や教養。
多彩な分野のリベラルアーツ科目が好奇心を刺激します。

物事の本質を見極める 洞察力を育む科目群

早稲田大学が提供する全学共通科目はおよそ 3500。総合大学ならではの多様な分野をカバーしているのが魅力です。学部や学年に関係なく、自分の将来の進路、興味関心にあわせて学び、社会で役立つ「真の教養」を身につけましょう。



[科目ピックアップ]

震災後に考える

本田恵子
教育・総合科学学術院 教授

現場で役立つ防災の 基礎知識と実践力の育成

東日本大震災による地震・津波・液状化被害をはじめとして、台風による土石流被害、火山噴火等の自然災害のメカニズムおよび、火災、都市型災害などについて理解すると同時に、防災活動の担い手として役立つ知識と実践力を獲得します。

New

ジオパーク

高木秀雄
教育・総合科学学術院 教授

楽しみながら学ぼう 「大地の公園」ジオパーク

国内ですでに 39 地域（うち世界ジオパーク 8 地域）存在するジオパークにスポットを当て、3 回程度の講義の後に、各自に割当てられたジオパークについて調査し、その生涯教育学的、観光学的、さらには防災教育の観点からのジオパークの有効性の解析を、ゼミ形式で発表します。

New

ライフストーリー論（入門）

太田裕子
GEC 准教授

“生”の物語を読み 聴き、語る

ライフストーリーを読み、聴く活動を通して、他者の経験とその意味づけを「物語」として解釈するとはどういうことかを学びます。
数多くのライフストーリーに触れることによって、人の生き方の多様性と共通点を理解し、自身の関心あるテーマを探究しましょう。

New

「春の祭典」と私たち

池原 舞
GEC 助教

バレエ・リュスの舞台作品 「春の祭典」を多角的に解剖

CD や DVD、教員による実演などを通じ、芸術史上最大のスキャンダルを巻き起こしたといわれるバレエ・リュスの舞台作品「春の祭典」を、社会学的に、比較文化論的に、音楽学的に、映像学的にと、さまざまな角度から読み解きます。一つの事象から小さなテーマをいくつも生み出し、深めていく意義を学修しましょう。

BID（ビジネス・アイデア・デザイン） 新しい価値を生み出す技術

井上達彦
商学学術院 教授

アイデア創出のための ビジネス知識を学ぶ

起業を考えている人々を悩ませる「ビジネスアイデア」の悩みを解決するためのお手伝いをします。ビジネス設計のフレームワークや制約を学び、単なる思いつきを超えた実践的なアイデアを創出する方法について学びます。

宇宙を考える

一自然科学、社会科学を結びつける
宇宙への視点一

(宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 連携講座)

佐藤哲也 理工学術院 教授 他

さまざまな学術分野を 『宇宙の視点』から斬る

「宇宙」をキーワードとして、宇宙工学に加えて、政治・法学・社会・環境問題などのさまざまな分野との結びつきを、JAXA 関係者や早稲田大学教員の講義により紹介します。

教養教育はなぜ必要？

近年、リベラルアーツ教育が注目されているのは、社会で求められる力が多様化してきたからでしょう。特定の専門分野でも、複数の学問知識や文系・理系の枠におさまらない幅広い教養が求められるようになってきています。リベラルアーツで学ぶ「教養」とは、物事の本質を見極める洞察力を育むために欠かせない力であり、同時に、人生を豊かにする原動力でもあるのです。

寄附講座・提携講座

企業や公的機関、NPO などの寄附により運営される講座です。早稲田大学ならではの幅広い人脈を活用し、第一線で活躍する実業家や政治家、クリエイターなどがゲストスピーカーとして登壇します。実社会との接点を持ちながら各界の最新トピックに触れ、ダイナミックに知見を広げることができます。



[科目ピックアップ]

WSC メンバーズ基金寄附講座 ダイバーシティ・男女共同参画を学ぶ

矢口徹也
教育・総合科学学術院 教授 他

ダイバーシティ・共同参画の 視点から理解する現代社会

早稲田サポーターズ倶楽部の「WSC メンバーズ基金」により開講する、新しい大学像であるダイバーシティ・男女共同参画について、学生のみなさんが基礎的、具体的理解を深めることを目的とする講座。「基礎講義編」と「ライフコースを考える」の2科目の履修をおすすめします。

New

パラリンピック概論

平田竹男
スポーツ科学研究科 教授 他

2020 年の東京五輪に向けて パラリンピアンも登壇

近年、競技レベル、大会規模ともに急激な成長を遂げ、2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催に向けて重要な要素である「パラリンピック」をテーマにする講義。パラリンピアンがゲスト登壇を予定しています。

JA 共済寄附講座 東北復興の まちづくりー農からの地域創生ー

早田 幸
社会科学総合学術院 教授 他

フィールドワークを通して 東北復興の可能性を探る

東日本大震災で被災した沿岸地域の農村地域を対象として地方創生をテーマに考える講座。首都圏や現地へのフィールドワークを行い、イベント開催などの実践も通じて、協働による東北復興の可能性を展望します。

コントラクトブリッジで 学ぶ数理科学入門

滝澤武信
政治経済学術院 教授 他

カードゲームの考察を通じて 論理的な思考法を学ぶ

コントラクトブリッジのオークションやプレイを通じ、論理的な推論法や確率計算など数理科学の初歩を学びます。海外の小説、映画、テレビドラマ等でもブリッジを楽しむシーンが見られ、このゲームの解説書や研究レポート等も外国語での著作は多数あるため、国際的な教養や外国語会話の向上にも寄与します。

早稲田を知る (早稲田大学校友会支援講座)

葛西順一
スポーツ科学学術院 教授 他

受け継がれる早稲田の精神を 新時代に生かしていこう

大隈重信と学園草創期の功労者、建学の精神と教旨について学びます。加えて、後継者たちが早稲田人として活躍した様子を紹介し、早稲田大学の精神を新時代に生かす展望を考えていきたいと思います。早慶野球戦の観戦や校歌・応援歌の学習も！

司法書士実務概論 (早稲田大学校友会支援講座)

大場浩之
法学学術院 教授

社会人になった後直面する 企業法務の基礎知識を学ぶ

司法書士の中心的な業務内容である、不動産登記（売買・担保設定・相続等）、法人登記（会社設立・役員変更・増資等）、成年後見制度（高齢者問題・後見制度等）、簡易裁判所関係業務（消費者問題・多重債務問題・悪質商法）などの理論と実務について、法令や判例、実務現場の事例を解説します。

※この他に4士業について実務概論を開講します。

[寄附講座]

大川ドリーム基金寄附講座 政治を学び合う／農林中央金庫寄附講座 農山村体験実習／JA 共済寄附講座 東北復興のまちづくりー農からの地域創生ー／農林中央金庫寄附講座 食と経済／JA 共済寄附講座 農村地域の経済と社会を見る目／大久保建男スポーツジャーナリズム基金寄附講座 (スポーツジャーナリズム論、実践スポーツジャーナリズム演習、トップスポーツビジネスの最前線)／WSC メンバーズ基金寄附講座 ダイバーシティ・男女共同参画を学ぶ (基礎講義編)、(ライフコースを考える)／大川ドリーム基金寄附講座 グローバル・ベンチャー企業の創出と経営ー起業家の価値創造戦略

[提携講座]

リーダーシップの軌跡／アセット・マネジメント (資産運用) の世界／きもの学／シンガポールの IT と経済開発／シンガポールの IT と未来構想／アジアの IT と経済発展／アジアの IT と社会革新／ウーマン・キャリアアクリエイト講座／ディベートで学ぶ現代医療最前線と医療問題／パラリンピック概論／フリーペーパー講座／ベンチャー起業家型リーダー養成講座／コントラクトブリッジで学ぶ数理科学入門／実践 能に親しむ／アイスランドの文化と言語 (入門)／囲碁で学ぶ数理科学入門／最新航空産業概論／FP (ファイナンシャル・プランニング) 講座／アラビア語とその文化

[校友会支援講座]

早稲田を知る／早稲田スポーツを学ぶ／アナウンス入門講座／アナウンス実践講座／司法書士実務概論／社会保険労務士実務概論／行政書士実務概論／税理士実務概論／中小企業診断士実務概論

リーダーシップ科目

これからの社会で役立つリーダーシップスキルを育成する新しい科目群が登場します。課題に対し少人数のグループ単位で企画提案を行います。グループワークを通じて自分なりのリーダーシップの発揮方法を体得し、チームで議論しながら結論を導くプロセスを体験。さらに、綿密な振り返りで、今後の改善方法を探っていきます。「10 年間で 10 万人のグローバルリーダー輩出」という本学の目標実現に根ざした注目のプログラムです。



日向野幹也
大学総合研究センター教授



稲垣賢治
GEC 非常勤講師

相互的な学びで内面の力を引き出す

リーダーシップは、あまり上下関係がない者同士で学ぶほうが成果が生まれると言われています。学生間で切磋琢磨し、フィードバックし合いながら、自分の気づかなかった長所・短所を自覚して、改善する。これを繰り返すことにより、あらゆる場面で発揮できるリーダーシップを涵養することができるのです。

リーダーシップは社会でいざばん役立つ力

社会で最も役に立つ基礎体力とも言えるリーダーシップを、グループワークを行いながら、各人がそれぞれの経験を通して学びます。授業に対して主体的になればなるほど、学ぶことは多いはず。これから世界を牽引していく早稲田の学生たちに、さまざまな状況で応用できる行動様式を学び取ってほしいと思います。

ボランティア科目

キャンパスを飛び出して実際の現場に足を運び、体験から学ぶことのできるボランティア科目。学びの場は国内・海外に広がっています。平山郁夫記念ボランティアセンター（WAVOC）では、講義で学んだ知識をボランティア体験によって深める実践科目を提供し、ボランティアのあり方や途上国の開発問題など幅広いテーマに触れることができます。さまざまな人と関わり合いながら思考を積み上げることで、新たな気づきをもたらしてくれるはずです。



【科目例】

リーダーシップ開発	1 (LD1)、2 (LD2)、3 (LD3)、4 (LD4)
他者のリーダーシップ開発	1-1 (LDC1)、1-2 (LDC2)



坪井宏樹さん
政治経済学部2年



佐久山 彩さん
法学部2年



藤野 開さん
商学部4年

やるべきことが明確にこれからの確にしたい

リーダーシップは経験から培うものだと思っていましたが、意識すべきポイントがあり、改善できるものだということがわかって、今後の指標を得たような気がします。授業を通じていろいろな人に出会えたのも得がたい体験。また、実際にビジネスに携わっている方々の意見を聞いたことは、大きな刺激になりました。

自分の行動を振り返り変えるきっかけに

この授業はフィードバックが組み込まれていることが肝のひとつ。互いに指摘し合うことで改善したり、自信を持ったりすることができます。私はグループワークに苦手意識がありましたが、自分の発言によって議論が新しい方向に展開する経験などを経て、リーダーシップの本質に少し近づけたような気がしています。

自分たちが授業をつくる参加型のプログラム

トライアル授業は非常にタフでしたが、それだけに得るものも大きかったと感じています。いちばんの収穫は、自分の本当の強みを認識できたこと。そして、自分なりのリーダーシップを高める方法論を身につけられたこと。授業は一方通行ではなく、自分が授業を組み立てる立場になれることも大きな魅力でした。



【科目例】

体験の言語化―世界と自分
体験の言語化―ボランティア体験から
ボランティア論 - 入門と基礎理論 -
環境とボランティア
グローバルヘルス
グローバリゼーションと国際協力
国際開発援助 理論と実践
東南アジアの開発問題とNGOの役割
東南アジアにおける復興と国際協力
南アジアから学ぶ途上国の農村開発
アフリカゾウとの共生を実践するボランティア
社会貢献のためのクリエイティブな発想と実践
社会の見方を変えるフィールドワークとワークショップ
教育支援を通した社会貢献
農林中央金庫寄附講座 農山村体験実習 など

プロフェッショナルズ・ワークショップ科目

プロフェッショナルズ（各業界の最前線で活躍する社会人）と学生が、ともに一つの課題解決に取り組むプロジェクト型の実践科目。グループワークを中心に企業が実際に抱えている問題の解決に挑みます。学生はプロフェッショナルズからビジネススキルを学び、プロフェッショナルズとの協働を通して、仕事の本質を体感することができます。ぜひ低学年のうちに受講し、キャリアを考えるヒントにしてください。

2016年度 協力企業 株式会社日本経済新聞／株式会社三井住友銀行／株式会社ドクターシーラボ／日本アイ・ビー・エム株式会社／株式会社リンクアンドモチベーション／本田技研工業株式会社／日本電気株式会社／株式会社フジテレビジョン／双日株式会社／三井住友海上火災保険株式会社 ※クラス順

プロフェッショナルズ・ワークショップで学ぶ3つの理由

社会人との接点を得る

低学年のうちから社会人のアウトプットレベルを知ること、自分とのギャップを認識することができます。

社会の課題に挑戦する

企業や団体が実際に抱えている問題に取り組めます。グループワークを中心に課題解決の方法を探ります。

主体的に学ぶ姿勢を養う

大学4年間で獲得すべきスキルは何かを自覚することができ、目標を持って積極的に学ぶ姿勢を養えます。

●働く意味について、第一線で働いている方のお話を聞きながら根本的に問い直すことができました。

●実践的・主体的に取り組める内容で、この授業だからこそ得られる知識や経験が多かった。

●学部・学年が異なるグループの中で、自分とは異なる考え方や新しいアイデアに触れ、刺激になった。

※プロフェッショナルズワークショップは、上記科目以外に、8・9月の夏季休業期間を利用して行う単位を付与しないプログラムもあります。詳しくはWebを参照してください。 [早稲田](#) [フロフロ](#) [検索](#)

国際教育科目

グローバル・イシュー（地球的諸課題）をテーマとするほか、国際社会において、広い視野で判断・意思決定が行える力を身につけることを目的とし、国際社会の観点からの歴史・文化・社会・政治・経済をはじめとする分野の科目や、留学前の準備教育となる科目などを設置しています。また、双方向型授業スタイルによるディスカッションやプレゼンテーション機会を取り入れた科目もあり、多くの科目は英語で行われます（日本語で実施する科目や日本語と英語を併用する科目も一部あります）。

日本語教育科目

日本語教育学を幅広く体系的に学びつつ、日本語を教えるとはどのようなことなのかを学ぶことができる科目が開講されています。これらの科目を通じて、自分自身が日本語と日本語が使用されるコミュニティに関して、より深く考えるきっかけとなるでしょう。

海外留学、異文化コミュニケーション、国際交流、ことば、日本語、日本語教育に関心があれば、はじめに日本語教育学を幅広くわかりやすく学習できる「日本語教育学入門」を履修することを推奨します。



言語科目

目的やレベルに応じて学べる英語プログラムのほか
多彩な言語を、文化や歴史とともに学べます。

実践的な学びで身につける グローバルリテラシー

国際化が加速する社会で、今後ますます求められるグローバルリテラシー。さまざまな目的やレベルに応じて開講される英語科目に加えて、少人数で会話するチュートリアル中国語や、入門レベルから学べる多彩な言語科目もあり、未知の言語に挑戦する楽しさを実感できるでしょう。

3つのステップで 確かな英語力を身につけよう

1

英語を学ぶ

少人数のグループレッスンや合宿形式の集中トレーニングなど、さまざまな学びのスタイルで英語の運用力を鍛えます。

【科目例】

General Tutorial English
Tutorial English Training Camp
Business Tutorial English (ビジネス実践編)
Writing Tutorial English

2

英語で思考する

海外の学生との対話や、論説文を批判的に読みこなす訓練などを通じて、実践的なコミュニケーション能力を身につけます。

【科目例】

Critical Reading and Writing
Discussion Tutorial English

3

英語で協働する

これまで培った英語力や発信力を総動員して、他者と協働する力を育みます。

【科目例】

Cross-Cultural Distance Learning (CCDL)

【科目ピックアップ】

General Tutorial English

学生4名にチューター 1 名
少人数で英語運用能力を向上

レッスンは教育経験および国際経験が豊富なネイティブスピーカー・日本人が担当し、テキストをもとにペアやグループでレッスンを行います。チューターはグループのレベルや進度に合わせて適宜アドバイスをします。各自の英語力に合わせて5レベルが設定されています。

※Tutorial English Web サイト
<http://www.w-as.jp/gogaku/course/prep.html>

Critical Reading and Writing

論理的思考力と
英語力を徹底して鍛える

論理的思考力とは、与えられた情報や知識に付和雷同することなく、複数の視点から注意深く分析し、その根拠となる資料を精査し、さまざまな可能性を考えだす能力です。国際的な場で質の高い発言ができるよう、英語力と論理的思考力の向上に取り組みます。

Cross-Cultural Dintance Learning (CCDL)

アジアの大学生と
英語でディスカッション

英語コミュニケーション力をさらに向上させ、対話力や異文化理解を深めることを目指します。授業中に海外交流大学（台湾、中国、韓国）のクラスと本クラスの間をネットワークで結び、アジアの学生と英語でライブディスカッションを行います。



Voice of Tutor

上級プラスを新設！

Mr. Jasper Hatts-Page
(Senior Tutor)

2016 年度春学期から新設される General Tutorial English 上級プラスは、上級よりもアクティビティの難易度を高く設定。就職面接や広告キャンペーン、データの分析などの場面で役立つ慣用表現や洗練された語彙を学び、英語コミュニケーション能力を一段階上のレベルへと導きます。“Are you ready for the challenge?”

多彩な言語

英語以外にも 20 を超える多彩な言語科目を設置しています。なかには、日本では学ぶ機会が少ない言語も含まれ、外国語大学にもひけをとらないラインナップがそろいます。多くの言語は入門や初級からスタートし、段階的に学ぶことが可能。また、言葉だけでなく、その言語圏の歴史や文化について学ぶ講義科目も充実しています。

【科目ピックアップ】

チュートリアル中国語

最大5名の少人数で学ぶ
日常中国語会話

中国で日常生活を送ることを想定したトピックについての会話レッスンを行います。レッスンは週 1 回で、中国語のネイティブスピーカーが中国語のみでレッスンをを行い、加えて、専用 Web サイトでの学習が課せられます。

※チュートリアル中国語 Web サイト
http://www.w-as.jp/gogaku/china_course.html

バスク語

地域の魅力や文化に触れ
言語を初歩から学ぶ

スペインとフランスの国境地帯にまたがる「バスク地方」で話される、系統不明の言語。バスク地方はバスクをホームとするサッカー・チームやピカソの「ゲルニカ」、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルの故郷としても知られています。授業では、バスク地方に関する基本情報やバスク語の発音から始め、バスクのダンスや音楽の映像などにより、文化にも適宜、触れていきます。

アイヌ語

アイヌの言語や文化、歴史に
多角的にアプローチする

アイヌ語は日本列島で育まれた言語のひとつ。日本語とは別の言語ですが、語順が日本語とほぼ同じなので、日本語話者にとっては勉強しやすい言葉だといえます。初歩から学ぶ会話に加え、「なぞなぞ」や「まじないの言葉」「ことわざ」「鳥の聞きなし」なども覚える「言語文化」や、カムイ（神）との関係やコタン（集落）の盛衰などアイヌの歴史と直結する可能性のある「口承文芸」など、多角的な学習が可能です。

スポーツ実技科目

200 を超えるバラエティ豊かなスポーツ実技科目
学部や学年を超えた幅広い交流が持てるのも魅力です。

実技科目で心身を鍛える 早稲田スポーツの真髄

早稲田スポーツを体感できる競技スポーツから、心身を健やかに過ごすための健康スポーツまで、幅広い実技科目が開講されます。トップレベルの専門家が、初心者にもわかりやすく指導。学部や学年の枠を超えた学生同士の交流も盛んです。

【科目例】

野球	水泳	ゴルフ	空手	自動車	ビレーティス
サッカー	ボクシング	スキー	合気道	自転車	ストレッチング
ラグビー	体操	スケート	バレー	野外スポーツ	デンロン
テニス	卓球	フェンシング	ボート	ワンダーフォーゲル	フィットネス
バスケットボール	ソフトボール	弓道	カバディ	ウェイトリフティング	レスリング
バレーボール	フットサル	柔道	馬術	山岳	エアロビックダンス
バドミントン	ソフトテニス	剣道	ヨット	ヨガ	生活の中のウォーキング

※教育職員免許状の取得を希望する場合は、2単位以上の修得が必須となります。1年次から計画的に履修しましょう。

全学共通副専攻

学部で学ぶ専攻分野をさらに深め、発展させるために、学部を超えて履修できる27の副専攻が設置されています。

学部の主専攻を補強する 第二の「強み」を持つ

学部や学年を問わずに履修できる全学共通副専攻には、時代に即した 27 のテーマがそろいます。主専攻を補強するために、応用分野を学んで発展させるために、学部の学びと並行して第二の強みをつくることが可能です。各専攻には「コア科目」と「選択科目」が指定され、必要単位を修了して申請すれば修了証明書が発行されます。



「副専攻ピックアップ」

健康・医療

人文社会学・生命科学の
両面から総合的に学ぶ

健康・医療に関連した講義科目で人文社会学、生命科学の両面から総合的に学びます。健康・医療に関する諸問題を従来の講義科目に加えて、討論や実習を通じて、総合的に学び、考え、実体験する場となることを目的としています。

日本の文化と歴史

グローバル時代に必要な
日本の文化や歴史を知る

今後、日本がますます国際化すれば、外国の人たちから日本の文化や歴史について、質問される機会も増えます。日本に関する歴史・美術史・文学・建築史など、幅広い観点から日本の文化や歴史を学ぶことのできる副専攻です。

「副専攻テーマ一覧」

EU・欧州統合研究
イスラーム地域研究
映画・映像
英語と異文化理解
演劇・舞台映像
オーストラリア研究
グローバル・スタディーズ
グローバル・リーダーシップ学
健康・医療
現代移動文化論
ことばの科学
コリア研究
ジェンダー研究
ジャーナリズム
社会貢献とボランティア
戦略的環境研究
ソフトウェア学
台湾研究
中国研究
データ解析
ドイツ研究
都市・地域研究
日本語教育学研究／マルチリテラシーズ
日本の文化と歴史
人間の生命科学
平和学
メディア表現

他大学との連携

早稲田大学が単位互換協定を結ぶ大学は全国に広がります。
各大学の長を生かした学びを体験することができます。

他大学の科目を受講して 学びの多様性を広げよう

近隣の大学で学ぶ

学習院大学、学習院女子大学、日本女子大学、立教大学との「f-Campus」をはじめとする近隣大学との単位互換制度を活用すれば、例えば午前中は他大学キャンパスで、午後からは早稲田大学のキャンパスで学ぶことも可能です。他大学で開講されるユニークな科目を学び、学外へとネットワークを広げましょう。

「単位互換協定を結ぶ近隣大学」



学習院大学



学習院女子大学



日本女子大学



立教大学



武蔵野美術大学



東京家政大学



東京女子医科大学

遠方の大学で学ぶ

多くの大学が加盟する京都地域大学・短期大学や九州大学との間でも単位互換を行っています。また、奈良県立医科大学、関西大学とは連携講座を開設し、特色ある授業を行っています。夏休みを利用して他大学のキャンパスや実習先で学ぶことができ、修得した単位は早稲田大学の単位として認められます。

※一部実習費および他大学までの交通費や現地での宿泊代などは学生の自己負担になります。

「科目ピックアップ」

江戸落語と上方落語

(早稲田大学・関西大学連携講座)

宮信明 演劇博物館 助教

地方の東京化、東京の地方化。文化の画一化が叫ばれ、落語もその例に漏れないが、それぞれの固有性を色濃く残していることも事実。江戸（東京）落語と上方落語の相違点と類似点を講義や調査によって理解し、フィールドワークでは寄席の鑑賞や落語の舞台の散策をしながら、早大生と関大生とで協力して、これからの落語、ひいては文化の在り方を考察します。

Experiences

同志社大学への国内留学

同志社大学と早稲田大学は 1997 年から国内交換留学を実施し、毎年 10 名程度の学生を相互に受け入れています。これまで多くの学生が同志社大学に「留学」し、京都の地で見聞を広め、交流を深めてきました。半期の留学制度もあるので、活用しやすくなっています。留学中に修得した単位は卒業単位として認められます。



もちろん、修得した単位は早稲田大学の卒業単位として認められます。

※一部実習費が必要な科目は実費負担になります。

「科目例」

学習院大学	美術史講義
学習院女子大学	日本生活文化史
日本女子大学	栄養・食品科学
立教大学	観光学への誘い
武蔵野美術大学	人体を描く、彫刻
東京女子医科大学	医学入門
東京家政大学	カウンセリング論

Column

環境を変えたからこそ 新しい挑戦ができました

人間科学部3年 白石圭佑さん

きっかけは、バスの中で見かけた大学のポスター。「京都」という言葉に引きつけられ、思い切って環境を変えてみようと思ったのです。どの学部でも学べるのが大きな魅力でした。「文化」をテーマに学びたいと考え、古事記・日本書紀や泉鏡花などさまざまな時代の文学に触れました。また、プロの能楽師や雅楽の先生による授業も興味深いものでした。さらに、学外活動では、京都市東山青少年センターの「演劇ビギナーズユニット 2014」に参加したことも、とても大きな刺激になりました。本番の高揚感やお客さんからの「おもしろかった」という一言が忘れられません。さまざまな年代の人と関わって視野を広げることができたのも、貴重な経験となりました。



1 WASEDA 式
アカデミックリテラシー

2 充実の学習環境

3 ユニバーシティ・
スタディーズ

4 言語科目

5 スポーッ
実技科目

6 全学共通副専攻

7 他大学との連携

8 My Vision
Program

1 WASEDA 式
アカデミックリテラシー

2 充実の学習環境

3 ユニバーシティ・
スタディーズ

4 言語科目

5 スポーッ
実技科目

6 全学共通副専攻

7 他大学との連携

8 My Vision
Program

My Vision Program

社会で求められる基礎的な知識やスキルを磨くための特別プログラム。単位を付与しない有料講座になります。

【科目ピックアップ】

問題解決の理論と実践

マーケティング&ブランディング編

宇佐美 清 / USAMI ブランディング株式会社代表取締役

グループで実践を重ね 方法論を体得する

ブランドとマーケティングに関する基礎知識、発想、具体的な方法論を学びます。授業はチームによるワークショップスタイル。「ブレインストーミング、オープンディスカッション、プレゼンテーション」を繰り返し、企業の実例も交えて方法論を体得します。

グローバル人材となるための教養講座

日本文化の理解と体験編

村田博信 / 株式会社ファーム・アルファ代表取締役、茶道裏千家講師、華道嵯峨御流奥伝

国際社会を生き抜く 「教養と人格」を磨く

グローバル社会で活躍するための基盤となる教養と人格を磨くことが目標です。講義では日本の思想・文化について講師との対話や学生同士のグループワークを通して理解を深めます。さらに、茶道、華道、日本舞踊などを体験し、日本古来の文化を体感します。



オンデマンド

ツールとプロセスで学ぶロジカルシンキング

石渡 明 / 早稲田大学非常勤講師

ロジカルシンキングで 問題解決に挑む

課題や問題の要因を把握するためのフレームワークやアプローチ方法、論理的思考方法の基本ツールであるロジックツリー、ピラミッドストラクチャーなどを知り、わかりやすく整理・分析したうえで解決策にアプローチし、説明・説得するコツを学びます。

オンデマンド

1000 字で書けるロジカルライティング

向後千春 / 人間科学学術院教授

きめ細かい添削指導で 文章力を鍛える

まず、論理的な文章の基本となる「三角ロジック」を学んで、短い文章を書く練習をします。その後、「序論・本論・結論」で構成される 1000 文字程度の文章に挑戦。添削を受けながらステップを踏んで書くことで、文章の「型」が理解できるようになります。

社会をよくする事業プロデュース

ソーシャルイノベーションを構想する

村田博信 / ファーム・アルファ株式会社代表取締役、茶道裏千家講師、華道嵯峨御流奥伝

事業創造に必要な 思考ツールを獲得する

複雑な社会的課題を解決するには、多様な知を融合し事業をプロデュースできる人材が求められます。そのためにはソーシャルイノベーションを構想できる能力が必要です。当講座は、事業創造に有効な思考ツールやプロセスを学びます。

学外連携プログラム

学外機関の知己を活用して学ぶ、単位を付与しないプログラムです。

【科目ピックアップ】

一般財団法人化学物質評価研究機構 (CERI) 連携プログラム

生活の安全を科学する

専門家による連続講義で暮らしを科学する

生活の安全・安心について、なぜ身の回りに安全をおびやかす問題が起こるのか、その検査検出方法や問題のありかを科学的にひも解きながら、安全をどのように担保していくのかを考えます。パネルディスカッションやグループ討論の機会も設ける予定です。

WASEDA-EDGE 人材育成プログラム

価値共創デザインプログラム

アイデア発想や デザイン手法を学ぶ

文部科学省「平成26年度グローバルアントレプレナー育成促進事業 (EDGE プログラム)」に採択された「WASEDA-EDGE 人材育成プログラム」として実施。「未来創造デザイン思考」「イノベーション創出」「デザイン思考によるマーケティングの新たな可能性」などデザイン思考やアイデア創出の手法を学びます。



使いこなそう！ 科目選びの情報ツール

GEC Web サイト

早稲田 GEC 検索

タイムリーな科目情報に注目

GEC のプログラム概要は、Web サイトでも見る事が可能です。全学共通副専攻は、動画でその内容を解説しています。プログラムの募集やイベントのお知らせも随時更新。学びの機会を逃さないようこまめにチェックしましょう。学生の履修体験談にも注目です。科目登録のページでは、注意ポイントや履修ガイドの変更事項なども案内しています。わからないことがあれば、問い合わせフォームを利用して質問しましょう。



Course N@vi

授業に活用したい支援サイト

授業に関する情報をタイムリーに発信する授業支援ポータルです。教室変更や補講などのお知らせのほか、課題レポートや小テストを提出したり、教員や学生同士でディスカッションしたりと、授業の理解を深めるためにも活用できるシステムです。



早稲田ポータルオフィス 困ったときの心強い相談窓口

GEC の科目について疑問や相談があれば、早稲田ポータルオフィスへ。履修や科目登録に関する相談など、スタッフが親身になって対応します。よくある質問などは Web でも紹介しています。

●場所
早稲田キャンパス 7号館 1階
●相談受付
月～土曜 10～18時
●開室時間
月～金曜 9～20時
(土曜・授業期間外は18時まで)



こうはいナビ

こうはいナビ 検索

学生と職員の協働プロジェクト

在学生が中心となって、入学前後に困ること、不安に思うことを解決できるよう、現役学生ならではの着眼点でさまざまな情報を発信しています。「ナビ Log」では GEC 科目が学生目線で紹介されています。



Point

科目登録のポイント

【登録の基本】

学部発行の 科目登録の手引で ルール確認

履修ガイド発行後に生じた曜日制限や授業日程などの変更は GEC Web ページおよび Web シラバスに掲載されます。最新情報は Web でチェックしましょう。

全学オープン科目 履修ガイドで 詳細確認

【ポイント】

1 所属学部の科目も含めて検討し、バランスよく登録しよう

2 一度登録が決定した科目の取り消しはできないので注意しよう。

3 志望理由が必要な科目も。忘れると選外になることもあるので注意しよう。

4 登録科目の単位算入ルールは所属学部の科目登録の手引で確認しよう

【質問前に確認しよう】

単位はどうなるの？

学部発行の科目登録の手引

科目登録の方法は？

学部発行の科目登録の手引
全学オープン科目履修ガイド

どんな科目がある？ 授業内容は？

全学オープン科目履修ガイド
GEC Web ページ
Web シラバス